

にしまらそん 国産ジビエ認証施設（第4号）「西米良村ジビエ処理加工施設」の概要

【取組の概要】

- 厚労省ガイドラインに基づき徹底した品質・衛生管理を行い、ジビエを重要な地域資源として「西米良ジビエ」ブランドを推進し地域活性化に貢献

【施設概要】

- 所在地：宮崎県児湯郡西米良村
- 事業者名：株式会社 米良資源開発
- 代表者名：代表取締役 小佐井 武憲（こさい たけのり）
- 整備時期：平成29年度（農水省中山間地域所得向上支援事業を活用し施設を整備）（公設・民営）
- 取扱獣種：シカ・イノシシ
- 年間処理頭数：358頭（シカ 290頭、イノシシ 68頭）（令和4年度）
- 従事者数：4名
- 主な販路：県内外レストラン、イオングループ、ヤオコウに精肉スライス、加工品を供給。



<ロゴマーク>



<処理加工施設の外観>

【特徴的な取組】

- 止め刺し・放血などの捕獲訓練を受けた有害鳥獣対策員6名（年間9ヶ月）が捕獲活動を行い個体を施設に搬入。
- 筋膜処理機（スキナー）、アルコールによる瞬間冷凍機など最新機材を導入し処理時間を短縮するとともに、徹底した品質・衛生管理を実施している。
- 県外の加工業者と提携し、「鹿カレー」などジビエ加工品（10種類）を商品化した。将来はレトルトなどのジビエ加工品の村内生産も視野に入れている。
- 西米良村と連携し、ジビエを村の地域活性化の中核に位置付け、平成27年度から毎年「にしまらジビエフェア」を開催するなど「西米良ジビエ」ブランドの推進をはかり、村の新たな観光資源として活用。



<施設の従業員>



<瞬間冷凍機>



<商品開発した加工品>



<イオングループに提供している猪肉>